



大阪の 社会福祉

2024年1月

824



社会福祉法人大阪市社会福祉協議会

<https://www.osaka-sishakyo.jp>



令和6年
年頭あいさつ



社会福祉法人
大阪市社会福祉協議会
会長 永岡 正己

新年あけましておめでとうございませう。

皆さま方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申しあげます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、これまで中止・休止となっていた活動が再開されるようになり、以前のような活気を感じる場面が多くなってきました。一方で、社会と生活の構造的変化によって、住民同士のつながりが希薄化し、社会的孤立や生きづらさを抱える人が増えています。

また、長期にわたる新型コロナウイルスの感染拡大と、胸の痛む国際情勢を背景とした物価高騰の影響も受け、私たちの生活困難はますます複雑で深刻な様相を示しています。それらの課題解決には、こどもから高齢者まで一貫した生活保障の仕組みを確かなものとする必要があります。公的制度の基盤整備、専門的支援の拡充とともに住民同士が互いを気にかけて、支え合う地域づくりと地域福祉活動の発展が求められています。

こうした状況をふまえ、本会では、令和6年度からの3年間を見据えた第3期地域福祉活動推進計画を今後策定し、これまでの取組みをさらに発展させ、つながり・支え合うことのできる福祉コミュニティの実現に向けて各分野の活動を一層推進してまいります。また、生活福祉資金特例貸付の償還開始から1年が経過しますが、経済的に困窮している方へのフォローアップ支援等につきましても、市・区社協が一体となり、引き続き取り組んでまいります。

地域共生社会の実現を図るうえで、地域福祉推進の中核的な団体である本会の役割を果たしながら、本年も「一人ひとりの人権が尊重されるやさしさとぬくもりのある福祉によるまちづくり」の実現に向け、各区社協と連携を図り、役員一同、皆さまに信頼される「社協」をめざして取り組む所存です。各区・各地域社会福祉協議会、民生委員・児童委員、主任児童委員、社会福祉施設、企業、NPO、ボランティアの方々をはじめ、市民の皆さまの一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

年頭にあたり、今年が平和な年でありますように願いますとともに、皆さま方のご健勝とご多幸をお祈り申しあげまして、新年のごあいさつといたします。



クマが各地に出没している。食べ物めぐっての人間とクマの争いは、まさにロシア・ウクライナ、イスラエル・パレスチナなどの争いと同じことだろう。▼若い頃、福井県原発から大阪に電気を送る送電線の下を歩いたことがある。関電道と地元の人々が呼ぶ細道が、送電線の下を延々とつながっているのだ。▼夏には木の葉や草に覆われて隠れてしまいが、秋から冬には道が現れると聞いて、11月の声を聴くと同時に、湖西から敦賀に向かって歩き出した。もちろんクマよけの鈴も持って▼途中で道を見失い、この尾根を越えたら集落があるはずだと、電線をにらんで必死で直登。尾根にたどり着いた時、すぐ近くに犬らしきものを見つければ、集落が近いと喜んだ▼ところがよく見るとそれはクマ。しかも3匹。子連れのクマや出会いがしらは危険と聞いていたので、無意識に足が震えだした▼いざとなったら死んだふりをしようと思いついたら、クマの方が去って行ってしまった▼ロシア・ウクライナもイスラエル・パレスチナも、争うよりいい解決方法がありそうに思うが、今年こそクマにとっても世界にとっても平和な1年でありませうように。

(石)

ボランティアと地域住民が つながる場！

「ボランティアまつり」

**ボランティアの
楽しさや魅力に
ついて知ってほしい**

此花区社協は、第2回「此花ボランティアまつり」を11月25日に此花区民一休ホールで開催しました。このイベントは、区

内で活動しているボランティアによる舞台発表や体験会を通して、地域住民の方々に普段の活動内容、ボランティアの楽しさや魅力を知ってもらい、活動に参加したいと思ってもらえるきっかけをつくること、また、区社協の取組みを知ってもらうことを目的として実施したものです。

昨年度が初開催で、今年が第2回目となるボランティアまつりですが、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響のため、事前申込制で参加人数を制限しての実施でした。しかし、昨年3月のボランティアまつり実行委員会において、今年はこのことから高齢者まで、多くの地域住民の方に気軽に参加してもらえるよう申込不要とし、区内全学校やさまざまな関係先に広報・周知がおこなわれました。

当日は、カフェやバルーンアート体験、塗り絵、福祉教育サポーターによる車いす体験、保育ボランティア

▲舞台上で活動者からボランティア活動内容について発表



▲さまざまなコーナーがあり、いろいろな方と交流できる機会になりました

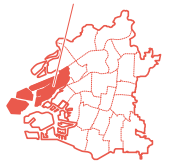
ボランティアまつりでは、こどもから高齢者まで多くの方が集う場となり、楽しみながらいろいろな方が交流できる機会となりました。参加者からは「地域の百歳体操に参加して、開催について聞いたので友人と誘い合って来ました」「久しぶりに会えた方もいたので、来てよかった」「全部のブースを回って、いろいろなことを体験したり、知ることができ、たくさんの方と交流できた」などの声がありました。

また、参加したこどもからは「塗り絵に夢中になった！楽しかったので、また来年もあれば参加したい！」「全部回れなかったので、リベンジしたい」など好評でした。

**ふりかえりを
おこない、次回の
開催に向けて検討**

実行委員会では、開催までに内容や開催形態などについて打

此花区



**たくさんの方が
集まり、顔を
合わせる機会に**

合せを重ね、終了後にも、今回のイベントについてふりかえりをおこない、次回の開催内容について、検討しました。

今回企画から初めて担当した区社協の野張沙希地域支援担当は、「区ボランティア・市民活動センターでは、ボランティアの方々が主体的に活動しています。今回の『ボランティアまつり』でもボランティアの方に活躍していただき、こどもから高齢者の方まで幅広い世代の方々が交流できました。今後地域の方々とボランティア活動者がふれあう場として継続して開催していきたいです」と思いを語りました。



▲最後は認知症予防の歌をみんなで歌い、会場がひとつになりました

特集

活動者の広げ方のススメ1 三世代が活躍中の居場所をご紹介！

地域福祉活動は、地域住民のつながり・いきがいつくりに寄与していますが、活動者の高齢化や減少により、今後の活動の継続に不安を感じている地域も多くあります。本記事では、新たな担い手発掘をめざして工夫をこらした取組みを紹介します。

西成区弘治地域 ふれあい喫茶

弘治地域では、ふれあい喫茶の開催場所を、コロナ禍をきっかけに老人憩いの家から、もと弘治小学校の体育館に変更し、月1回土曜日に開催しています。移転を機に、三世代交流を掲げ、参加者・活動者ともに、こどもから高齢者までが参画し

やすい活動をめざしています。

手作りのたこ焼き・ぜんざい・ペビーカステラ・クレープ・季節のメニュー等を、1品100円で提供しています。体育館の広さを活かし、メニューごとのブース制にすることで、多様なメニューの提供と、担い手の活躍につなげています。また、会場の一角には、西成区社協による相談窓口やポッチャの体験コーナーが併設されています。

取材当日(12月9日)は、近隣住民の他、学童クラブのこどもや他区から足を運んだ親子など、約200人の参加がありました。

活動者の方々に、新たな活動者を増やしていくために意識していることや工夫についてお聞きしました！

活動者を増やしていくために意識していることはありますか。

元山さん(弘治地域社協会長)



▲クレープブースは学生が主役

わってくださる人と新たな活動者みんなが気持ちよく活動できるように目を配り、開始前のミーティングで初めて参加してくれる方を紹介しています。みんな元気に活動してくれているので、いくつになっても活躍できる活動にしていきたいです。

活動に参加されることになったきっかけをおしえてください。

三野さん(大阪府警察本部府民安全対策課西成子供安全コーデイネーター) 小学生の登下校の見守り活動をして、元山会長をはじめとした地域の方とつながりができました。チューバの演奏ができることを活かして何かできないかと元山会長に相談したところ、毎月のふれあい喫茶で演奏の機会を設けてもら

うことになりました。
新たに活動に加わってくれた方が継続的に参加できるような工夫はありますか。

芝本さん(弘治連合振興町会西萩南町会長/西成花園郵便局長) 弘治小学校を卒業して、地域イベントに遊びに来た大学生や社会人に声をかけて、クレープのブースを手伝ってもらっています。今日は、中学生2人が参加してくれました。次も参加したいと思ってもらえるように、自由なアイデアを出して実行できるような環境をつくれるよう、学生にお任せする部分を多くし、とにかく楽しく活動してもらおうことを大事にしています。

活動者を広げていくためのポイント

来るもの拒まずの精神で、関わってほしい人を誘い込む

- 地域の団体内だけでなく、一緒に活動してくれる人と何ができるかを考える
- 各活動者のつながりを活かして積極的な声かけをする

継続して参加しやすいような環境づくり

- 新たな活動者を他の活動者にも紹介し、受け入れやすい雰囲気をつくる
- ブースに分かれて、少人数で声をかけ合って活動する

活動者自身が楽しめる場をつくる

- 自由な発想を取り入れられる場面をつくり、新たな活動者も能動的に楽しみながら参加できる場をつくる
- おもしろいことをみんなで考える

日時 第2土曜日 午前11時30分～午後1時

場所 もと弘治小学校 対象者 どなたでも

運営 弘治ふれあい喫茶委員会

たこ焼き・ぜんざい・ペビーカステラ・クレープ・コーヒーなどが楽しめます！(メニューひとつあたり100円)

※実施状況は西成区社協のHPまたはSNSをご確認ください。

「孤独・孤立や生活困窮の課題に
地域・関係団体等と協働して取り組む」



市社協は、11月30日に大阪国際交流センターで「地域福祉シンポジウム」を開催し、地域活動者や社協、施設、行政職員など約100人が参加しました。本シンポジウムは平成27年度から市民・福祉関係者の方を対象に、地域における福祉活動の意義と可能性を考えることを目的として開催しています。

約3年にわたる新型コロナウイルス感染症の影響から、「孤独・孤立」「生活困窮」など、さまざまな背景をもつ方々の問題が一層顕著となりました。そうした方々を見つけ、問題がより深刻となる前に、地域のなかでつながりをつくり支援をしていくこと、また、つながり続けることができる地域づくりが求められています。今回は、武庫川女子大学の松端克文教授を講師に迎え、「地域福祉活動状況調査」の直近の結果や、鶴見区社協、淀川区社協それぞれの実践報告から、孤独・孤立や生活困窮の課題に対してどのように向き合い、取組みを展開していくかを考えました。

▼ コロナ禍を経て多くの
地域福祉活動が再開

まず、市社協から「地域福祉活動の推移に関する調査から見えてきたことこれから」と題して報告しました。コロナ禍では多くの活動が中止や休止を余儀なくされましたが、令和5年9月末時点では、ふれあい喫茶や子育てサロン等の活動(2128団体)で、再開・実施している割合が88.95%となっており、新たに立ち上がった活動も多数あるという調査結果を共有し、孤独・孤立などの課題に対して地域福祉活動は重要な役割を果たしていることを伝えました。

▼ つながりづくりは
私たちづくり

松端先生は、講演で、「孤独・孤立、生きづらさについては、課題別に特定の支援があるわけではないため、制度中心ではなく、本人中心で考える必要がある

実践報告①

鶴見区 見守り相談室としての社会的に孤立している方への支援
「関係が途切れないようにつながり続ける」

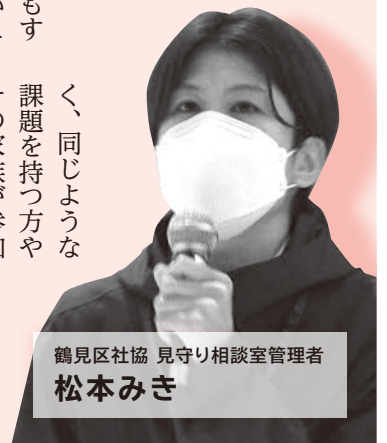
見守り相談室が
関わる事例

- 50代(女性)の単身世帯。近隣からの連絡で訪問したところ衰弱しており救急車で搬送。周りに頼る人がいなかったが、信頼関係を構築し、受診や障がい福祉サービス利用につながった。
- 60代(男性)の単身世帯。退職後、週1回の買い物以外は自宅にいる生活をしていました。近隣からの連絡で関わり始め、当初は支援を拒否していたが、何度も訪問し、少しずつ心境を話してくれるようになり、滞っていた支払い手続き等を支援している。
- 約10年ひきこもり状態にある息子のことで、母から相談があり、関係機関とも連携しながらサポートし、今は直接話してくれるまでになった。

見守り相談室は、制度の狭間にある方やひきこもり状態にある方など、生活上で困りごとを抱えている方に寄り添いながら一緒に問題解決をめざす「個別支援」と、そこで感じた課題を「同じような問題を抱えた方が複数いるのではないかと地域のか」と地域の課題に捉え直し、事業の展開や新

たな資源を創り出していく。地域支援“を循環させた実践に取り組んでいます。そのなかで孤独や孤立、生活困窮等の課題を抱えた方に関わることであります。相談の入口は、地域住民や家族などさまざまですが、訪問してもすぐには受け入れてもらえないこともよくあります。そのような状況でも、支援拒否も相手からのメッセージであり、関係性のひとつと考えて、まずは何気ない会話から始め、困りごとを話してもらえよう。何度も訪問しています。相談者自身が客観的に、自分が困っていると気づくことが大切だと考えて、関係が途切れないように相談者の意思を尊重し、特性に合わせた関わり方をするなかで、少しずつ信頼関係を築き、相談者とともに歩みながら課題と向き合っています。個別の関わりだけでなく、

同じような課題を持つ方やその家族が参加できる集まりなどをつくっていきたく考えています。地域住民からの相談や連絡により、相談者とながれることが多いので、各地域の民生委員の会議等でも、見守り相談室の役割や近所に気になる人(ポストに新聞が溜まっている、最近姿を見かけなくなったなど)がいたら連絡をもらえるよう、具体的な事例も交えた周知活動をしており、さらに地域に向けて幅広く発信をしていきたいです。



鶴見区社協 見守り相談室管理者
松本みき



▲武庫川女子大学 松端先生

る。例えば、不登校やひきこもり状態にある人の数が増加傾向にあるなかで、社会のなかで起こっている問題にも関わらず、個人の問題と解釈されてしまう現状がある。自分だけでがんばらないといけないとしんどくなってしまう前に、人に助けを求めてもいい社会、周りの人も『どうしたの?』と声をかけられる社会をつくる必要があり、孤立状態にある人が社会でのつながりをどうつくっていくかが重要である」と話しました。

また、松端先生は「人が集まり会話ができる場所を意図的につくっていく必要がある」とも述べ、家庭でも職場でもない、第3の居場所が豊かにあることが重要であることや、私が私であること(存在)を肯定し、お互いが認め合えるコミュニケーション(「私たち」と感じる)が大切であることと話をしました。

参加者の声

- 松本さんの「支援拒否も関係の一つである」という言葉から、負のこともすべて負ではない、そう決めつけないことが大切だと感じました。
- 個別支援、地域支援の両輪から、コロナ禍で浮きぼりになった孤立への取り組みを知ることができ、勉強になりました。
- 専門職だけでは解決できないことが多々あり、地域の力は大きいと改めて思います。
- 困っている時に困っていると声をあげられる社会、関係性が必要なのだと改めて思いました。

困りごとを話せる 関係性・場をつくる

とめました。

実践報告②

淀川区 こどもレスキュー事業を通じて支援の幅を広げる 「企業・団体・学生等の力をこどもたちへ」

コロナ禍で生活に困窮する方からの相談が急増し、子育て世帯からも多くの困りごとが寄せられていた頃、区内の企業から「生活に困っている子どものために社会貢献がしたい」と寄附をいただいたことをきっかけに、淀川区社協として独自に「こどもレスキュー事業」を立ち上げ、今年で3年目を迎えました。

対象は区内在住で生活にお困りの中学生以下の子育て世帯とし、食料品やおむつの配付、大学生や元教師などのボランティアが講師となった学習支援をおこなっています。本事業を利用する前に職員が面談をして事情を伺い、困りごとを抱える世帯に継続して支援ができるようにしています。また、金銭的理由から、子どもを遊びにつれていけないなどの声があったことをきっかけに、バスツアーを企画し、みんなで遠足に行き、親子で楽しいひとときを過ごしてもらい親同士、子同士のつながりも生まれました。また今年度になってからは、学習支援に参加する子どもたちが自主的に企画を考えて実施できる機会があればと、月1回「こどもカフェ」を実施しています。学生ボランティアがサポートし、こどもたちで話し合いながらメニューを考え、役割分担をして楽しく開催しています。本事業も開始から3年を迎え、たくさん世帯と関わるなかで、本事業の「出口」を考えることも課題となっています。



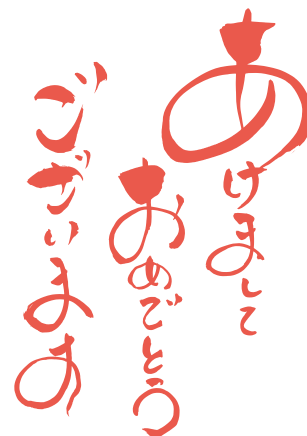
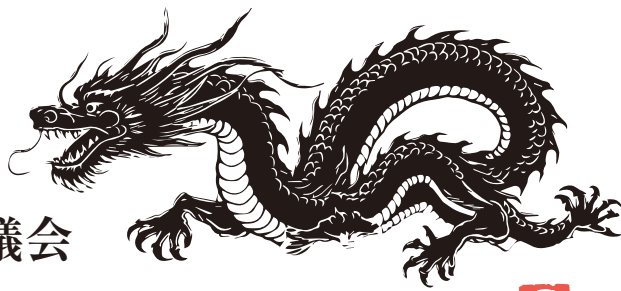
「こどもレスキュー事業」 利用者の声

- 現在失業中でなかなか仕事も決まらずお金や生活の悩みで不安のなか、このような支援を受けることができ、助けていただいています。
- 困っている方や頼る方がいない方々には(私たち親子も含め)本当にありがたいです。私も心身ともに元気になりましたらボランティアとして参加したいです。
- いつも家庭を支えていただきありがとうございます!コミュニケーションも増えて、いろいろがんばろうと思います。



淀川区社協 地域支援担当
前田歩美

令和6年 元旦



社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

会長 永岡 正己

副会長 清水 弘 / 多田 龍弘 / 武智 虎義
/ 小嶋 憲子 / 前田 葉子

社会福祉法人 大阪市北区社会福祉協議会	会長 小玉 始	社会福祉法人 大阪市都島区社会福祉協議会	会長 前田 起平
社会福祉法人 大阪市福島区社会福祉協議会	会長 矢山 英夫	社会福祉法人 大阪市此花区社会福祉協議会	会長 岩井 政人
社会福祉法人 大阪市中央区社会福祉協議会	会長 浦野 皖次	社会福祉法人 大阪市西区社会福祉協議会	会長 笹倉 和忠
社会福祉法人 大阪市港区社会福祉協議会	会長 武智 虎義	社会福祉法人 大阪市大正区社会福祉協議会	会長 川上 満
社会福祉法人 大阪市天王寺区社会福祉協議会	会長 一本松三雪	社会福祉法人 大阪市浪速区社会福祉協議会	会長 北口 武司
社会福祉法人 大阪市西淀川区社会福祉協議会	会長 大垣 純一	社会福祉法人 大阪市淀川区社会福祉協議会	会長 三田 和夫
社会福祉法人 大阪市東淀川区社会福祉協議会	会長 吉田 正則	社会福祉法人 大阪市東成区社会福祉協議会	会長 清水 弘
社会福祉法人 大阪市生野区社会福祉協議会	会長 多田 龍弘	社会福祉法人 大阪市旭区社会福祉協議会	会長 宮本 正路
社会福祉法人 大阪市城東区社会福祉協議会	会長 高木 正博	社会福祉法人 大阪市鶴見区社会福祉協議会	会長 中田 俊二
社会福祉法人 大阪市阿倍野区社会福祉協議会	会長 永岡 正己	社会福祉法人 大阪市住之江区社会福祉協議会	会長 中野紀久雄
社会福祉法人 大阪市住吉区社会福祉協議会	会長 山下 保一	社会福祉法人 大阪市東住吉区社会福祉協議会	会長 川本 公夫
社会福祉法人 大阪市平野区社会福祉協議会	会長 林 幸男	社会福祉法人 大阪市西成区社会福祉協議会	会長 越村 市二

支えあう 住みよい社会 地域から 大阪市民生委員児童委員協議会

会長 小嶋 憲子
副会長 桑野 太一郎
副会長 浦野 英男
副会長 山本文雄

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内
電話 6765-5609 FAX 6765-5603
<https://osakashi-minjikyo.jp>

一般財団法人 大阪市身体障害者団体協議会

会長 手嶋 勇一
副会長 川越 利信
副会長 廣田 しづえ
副会長 山梨 徳治

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10
大阪市立社会福祉センター内
電話 6765-5636 FAX 6765-7407
<http://shishinkyoo.o.oo7.jp>

大阪市社会事業施設協議会

会長 川端 均 (大阪市生活保護施設連盟)
副会長 岡本 佳久 (大阪市児童福祉施設連盟)
副会長 近藤 遼 (大阪市保育連合会)
副会長 新田 正尚 (大阪市老人福祉施設連盟)
副会長 加藤 久美 (大阪市地域福祉施設協議会)
副会長 山内 泰典 (大阪市障害児・者施設連絡協議会)

【事務局】 〒543-0021
大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内
電話 6765-5606 FAX 6765-5607

公益社団法人 大阪市ひとり親家庭 福祉連合会

会長 北 玲子
〒531-0071


大阪市北区中津1-4-10
大阪市立愛光会館内
電話 6371-7146 FAX 6371-6722
<https://www.hitoren-osaka.org>


 <p>社会福祉法人 大阪自彊館</p> <p>理事長 川端 均</p> <p>〒557-0014 大阪市西成区天下茶屋1-3-17 電話 6659-8181 FAX 6652-2218 http://www.ojk.or.jp</p>	<p>社会福祉法人 白寿会</p> <p>理事長 新田 正尚</p> <p>〒557-0063 大阪市西成区南津守7丁目12番32号 電話 6651-2210 FAX 6651-6060</p>	<p>社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会</p> <p>会長 井手之上 優 副会長 大西 豊美 副会長 花野 淳一 副会長 川西 利則 常務理事 田中 進</p> <p>〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54 電話 6762-9471 FAX 6764-5374 http://www.osakafusyakyu.or.jp</p>
--	--	--

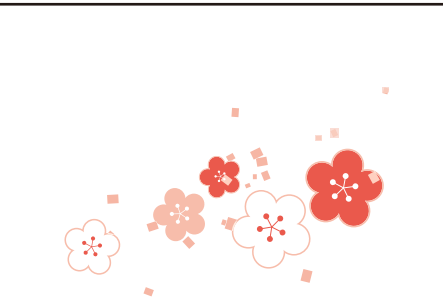
<p>一般社団法人 大阪市私立保育連盟</p> <p>会長 近藤 道 会員一同</p> <p>〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内 電話 6761-1171 http://o-shihoren.or.jp/</p>	<p>赤い羽根共同募金 </p> <p>社会福祉法人 大阪府共同募金会</p> <p>会長 多田 龍弘</p> <p>〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54 大阪社会福祉指導センター 2階 電話 6762-8717 FAX 6762-8718 http://www.akaihane-osaka.or.jp</p>	<p>一般社団法人 大阪市児童福祉施設連盟</p> <p>会長 岡本 佳久</p> <p>児童養護施設 母子生活支援施設 児童自立支援施設 乳児院 児童心理治療施設 福祉型障害児入所施設 児童発達支援センター</p> <p>【事務局】 社会福祉法人 大念仏寺社会事業団 〒547-0045 平野区平野上町1-7-3 電話 6791-5410 FAX 6791-7774</p>
--	---	---

<p>特定非営利活動法人 大阪市地域福祉施設協議会</p> <p>会長 加藤 久美 会員一同</p> <p>〒557-0004 西成区萩之茶屋2-9-2 わかかさ保育園内 電話 6633-2965 FAX 6633-2970</p>	<p>一般社団法人 大阪市老人福祉施設連盟</p> <p>代表理事 仲谷 善弘</p> <p>〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内 電話 6765-3611 FAX 6765-3612 https://sirouren.jp</p>	<p>大阪市生活保護施設連盟</p> <p>会長 川端 均 会員一同</p> <p>【事務局】 救護施設 平和寮 内 〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町3-4-27 電話 6628-6151 FAX 6628-0441</p>
---	---	---

<p>障がいのある人が安心して心豊かにすごせるように 社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会 </p> <p>理事長 長谷川 美智代 役員・会員一同</p> <p>〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内 電話 6765-5621 FAX 6765-5623</p>	<p>大阪市障害児・者施設連絡協議会</p> <p>会長 山内 泰典</p> <p>【事務局】 あすわ〜く 内 〒533-0014 大阪市東淀川区豊新 1-3-3 電話 080-4760-8215 FAX 06-6815-0255 http://www.ossk.org</p>	<p>みおつくしクラブ大阪（愛称） 一般社団法人 大阪市老人クラブ連合会</p> <p>理事長 野口 一郎</p> <p>〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター 3階 電話 4304-8555 FAX 4304-8557</p>
--	--	---

<p> 社会福祉法人 都島友の会</p> <p>理事長 渡久地 歌子</p> <p>〒534-0021 大阪市都島区都島本通3-4-3 電話 6921-0321 FAX 6924-2055 https://www.miyakojima.or.jp</p>	<p>社会福祉法人 愛徳福祉会 大阪発達総合療育センター</p> <p>理事長 船戸 正久</p> <p>南大阪小児リハビリテーション病院（保険医療機関） わかば（医療型障害児入所施設・短期入所事業） ふたば（児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業） いぶき（特定相談支援事業・障害児相談支援事業） フェニックス（医療型障害児入所施設・療養介護事業・短期入所事業） なでしこ（生活介護事業・児童発達支援事業） 〒546-0035 大阪市東住吉区山坂 5-11-21 電話 6699-8731 FAX 6699-8134</p> <p>みらい（放課後等デイサービス） 電話 7501-0282 FAX 7504-0212 ゆなた（生活介護事業） 電話 7501-0319 FAX 7501-0330 きらり（共同生活援助事業） 電話 7501-0328 FAX 7501-0330 〒546-0035 大阪市東住吉区山坂 5-12-5</p> <p>訪問看護ステーション めぐみ（指定訪問看護事業） 電話 6699-8855 FAX 6699-8856 ヘルパーステーション めぐみ（指定訪問介護事業） 電話 7506-9223 FAX 6699-8856 〒546-0035 大阪市東住吉区山坂 5-9-16</p> <p>大阪発達総合療育センター あさしお診療所（保険医療機関） あさしお園（児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業） ゆうなぎ園（児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業） 〒552-0004 大阪市港区夕風 2-5-3 電話 6574-2521 FAX 6574-2524</p>
---	--

<p> 社会福祉法人 大阪市障害者福祉・スポーツ協会</p> <p>理事長 石田 易司</p> <p>〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12番10号 電話 06-6767-9981</p> <p>【運営事業所一覧】 大阪市長居障がい者スポーツセンター 大阪市舞洲障がい者スポーツセンター 大阪市更生療育センター ワークセンター中津 ワークセンター中授 ワークセンター千里 大阪市立此花作業指導所 ワークセンター粉浜 中津サテライトオフィス 大阪市立早川福祉会館 サテライト・オフィス平野 大阪市障がい者相談支援研修センター 大阪市職業指導センター 大阪市職業リハビリテーションセンター 大阪市障がい者就業・生活支援センター 大阪市発達障がい者支援センター[エルムおおさか]</p>
--



<p>社会福祉法人 一隅苑</p> <p>理事長 和田 偉夫</p> <p>我孫子地域在宅サービスステーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デイサービスセンター ・ホームヘルプセンター ・ケアプランセンター ・総合相談窓口(ランチ) <p>〒558-0013 大阪市住吉区我孫子東1-4-37 電話 4700-1000 FAX 4700-1009</p>	<p>社会福祉法人 今川学園</p> <p>理事長 魚住 誠一</p> <p>保育所・隣保館・子どもの家・ キンダーハイム・大和川園・今林の里・ ふれあいホーム・ハーモニー・ ワークセンターいまがわ</p> <p>〒546-0003 大阪市東住吉区今川3-5-8 電話 6713-6106</p>	<p>社会福祉法人 海の子学園</p> <p>理事長 間口 敦生</p> <p>児童養護施設 入舟寮 児童養護施設 池島寮 病後児保育室 げんきっこホーム</p> <p>〒552-0015 港区池島3-7-18 電話 6571-1000 FAX 6573-9102</p>
<p> 社会福祉法人 みなと寮</p> <p>理事長 大西 豊美</p> <p>〒586-0052 河内長野市河合寺423番1 電話 0721-62-3700 FAX 0721-62-3711 http://www.minatoryo.or.jp/</p>	<p>社会福祉法人 大阪重症心身障害児者を 支える会</p> <p>理事長 三田 康平</p> <p>〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町2-23-11 電話 6622-3759 FAX 6622-3769 E-mail center@sasaeru.or.jp</p>	<p>社会福祉法人 生きるを支える 大阪福祉事業財団</p> <p>理事長 茨木 範宏 常務理事 山本 政幸 常務理事 勝原 祐子 事務局長 桑原 一章</p> <p> 大阪福祉事業財団</p> <p>〒536-0001 大阪市城東区古市1-7-8 電話 6931-0098 FAX 6933-1699 mail:since1948@zaidanosaka.or.jp https://www.zaidanosaka.or.jp</p>
<p>社会福祉法人 柿の木福祉の園</p> <p>理事長 宮川 友理子</p> <p>長居保育園 長居保育園乳児センター 長居子どもの家 長居西地域在宅サービスステーション ながいの里 居宅介護支援事業所 ながいの里</p> <p>〒558-0004 大阪市住吉区长居東4-11-16 電話 6691-3669 FAX 6691-8292 http://www.kakinoki.or.jp</p>	<p>社会福祉法人 久栄会</p> <p>理事長 岩崎 久直</p> <p>〒544-0013 大阪市生野区巽中3-14-3 電話 6756-5200 FAX 6756-6688 http://www.minori-en.com/</p>	<p>社会福祉法人 きれ福祉会</p> <p>理事長 大久保 孝</p> <p>障がい福祉サービス事業 就労継続支援B型事業所 ユーアンドアイ 居宅介護・重度訪問介護 サポートわか</p> <p>〒547-0025 平野区瓜破西 1-8-45 電話 6799-5112 FAX 6799-5113</p>
<p>社会福祉法人 高津学園</p> <p>理事長 田尻 達朗</p> <p>児童養護施設 高津学園 児童養護施設 報恩寮 障害児入所施設 法然寮 障害者支援施設 知恩寮(以上、天王寺区) 児童養護施設 信太学園(和泉市)</p> <p>〒543-0017 天王寺区城南寺町1番10号 電話 6761-1663 FAX 6768-1653</p>	<p>社会福祉法人 治栄会</p> <p>理事長 大森 秀之</p> <p>〒534-0027 大阪市都島区中野町5-10-70 電話 4253-8055 FAX 4253-8066 https://www.jieikai.or.jp/</p>	<p>社会福祉法人 四恩学園</p> <p>理事長 中西 裕</p> <p>●乳児院・児童養護施設 ●幼児・乳児・里親支援機関 ●子どもの家(学童)・子育て支援センター ●地域密着型特別養護老人ホーム</p> <p>デイサービス・認知症デイサービス・ホームヘルプセンター 住吉区東地域包括支援センター・居宅介護支援事業所・ 〒558-0011 大阪市住吉区苅田4-3-9 電話 6607-2220 FAX 6696-5347 http://shiongakuen.or.jp</p>
<p> 社会福祉法人 四天王寺福祉事業団</p> <p>理事長 南谷 恵敬 常務理事 塚原 昭人 常務理事 廣瀬 善重</p> <p>〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1-11-18 電話 6771-7971 FAX 6771-8961</p>	<p>社会福祉法人 晋栄福祉会</p> <p>理事長 濱田 和則</p> <p>〈鶴見区〉茨田大宮ちどり 施設長 上東 恵子 〈都島区〉東野田ちどり保育園 園長 江川永里子 〈城東区〉城東ちどり保育園 園長 山本 信吾 〈東成区〉大阪市立東中本保育所 所長 高田 幸代 〈大正区〉大阪市立北恩加島保育所 所長 井口 克己 〈北区〉中之島ちどり保育園 園長 小林 操 〈中央区〉御堂筋本町ちどり保育園 園長 高平 友子 〈福島区〉新福島ちどり保育園 園長 松本 行弘</p>	<p>社会福祉法人 しんもり福祉会</p> <p>理事長 松野 五郎</p> <p>平和の子保育園 平和の子どもの家 らっこデイサービスセンター 大阪市立両国保育所 〒535-0022 大阪市旭区新森7-1-5 電話 06-6954-0524 FAX 06-6954-1961 http://www.shinmori-fukushikai.or.jp</p>
<p>社会福祉法人 水仙福祉会</p> <p>理事長 松村 寛</p> <p>〒533-0004 大阪市東淀川区小松1-13-21 電話 6328-3786 FAX 6328-3788 E-mail honbu@suisen.or.jp http://www.suisen.or.jp/</p>	<p> 社会福祉法人 スワンなにわ</p> <p>理事長 樋口 恵光</p> <p>居宅介護支援事業所 訪問介護 デイサービス 認知症対応型デイサービス 認知症対応型グループホーム 生活支援事業所 児童デイサービス 就労継続支援B型事業所</p> <p>〒556-0026 大阪市浪速区浪速西2-11-6 電話 6562-0456 http://care-net.biz/27/swan/</p>	<p>社会福祉法人 聖家族の家</p> <p>理事長 上利 久芳</p> <p>児童養護施設 聖家族の家 乳児院 聖母託児園 児童心理治療施設 児童院 テルミエ診療所</p> <p>〒546-0033 東住吉区南田辺4-5-2 電話 6699-7221 FAX 6699-7243 E-mail holyfamily@luck.ocn.ne.jp</p>

<p>社会福祉法人 大念仏寺社会事業団</p> <p>理事長 杉田 善久 大念仏乳児院、ボ・ドーム大念仏、ボ・ドーム、子どもの家「童夢」、いちよう保育園、いちようベビーセンター、ひらのドリーム園、南生野いちよう保育園、ドレミ広場、タイガー・ダイヤモンドルーム 〒547-0045 大阪市平野区平野上町1-7-3 電話 6791-5410</p>	<p> 社会福祉法人 尚 和 会</p> <p>理事長 張 はる江 なのはなこども園 〒534-0023 大阪市都島区都島南通1-9-1 電話 6921-6818 FAX 6921-6819 http://nanohana-hoiku.or.jp</p>	<p> 社会福祉法人 なみはや福祉会</p> <p>理事長 竹本 榮 〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内 電話 6761-3010 http://www.namihaya.or.jp</p>
---	---	--

社会福祉法人
日本ライトハウス

理事長 橋本 照夫
〒538-0042
大阪市鶴見区今津中2-4-37
電話 6961-5521 FAX 6968-2059
<http://www.lighthouse.or.jp/>

社会福祉法人 **博愛社**

理事長 畑野 研太郎
〒532-0028
大阪市淀川区十三元今里3-1-72
電話 6301-0367 FAX 6301-5347
<https://www.hakuaisha-welfare.net/>

やさしさと思いやりのある介護
社会福祉法人
ビーナス福祉会

理事長 田村 文子
〒551-0003
大阪市大正区千島1-23-26
電話 6553-4800 FAX 6553-7771
<http://www.venushome.jp/>

 社会福祉法人
みおつくし福祉会

理事長 田丸 卓嗣
〒543-0021
大阪市天王寺区東高津町12-10
大阪市立社会福祉センター内
電話 6765-5611 FAX 6765-5614
<https://www.miotsukushi.or.jp/>

公益社団法人
大阪社会福祉士会

会長 前川 阿紀子
副会長 山田 美代子
副会長 氏家 幹夫
副会長 小名 京子
〒542-0012 大阪市中央区谷町7-4-15
大阪府社会福祉会館内
電話 4304-2772 FAX 4304-2773
<http://www.oacsw.or.jp>

まかせてください その仕事！
公益社団法人
大阪市シルバー人材センター

本 部 城東区関目3-1-14 電話 6931-0221
南部支部 天王寺区東高津町12-10 電話 6765-6116
西部支部 西区立売堀4-10-18 電話 6543-7011
北部支部 北区池田町1-50 電話 6882-3830
訪問介護事業所 城東区関目3-1-14 電話 6180-1010
(本部事務所併設)
<http://www.osakasc.or.jp>

 あふれる笑顔
社会福祉法人 **優心会**

理事長 垣谷 隆太
・介護老人福祉施設 ・通所介護
・短期入所生活介護 ・居宅介護支援事業
〒547-0014 大阪市平野区長吉川辺3丁目2番3号
電話 06-6700-8000 FAX 06-6700-8400
<http://yuushinkai.or.jp>

 社会福祉法人
路交館

理事長 尾 埜 健二
〒533-0023
大阪市東淀川区東淡路2-7-5
電話 6321-3955 FAX 6325-6320
<https://www.rokoukan.or.jp/>

人に寄り添う福祉を学ぶ
関西福祉科学大学
社会福祉学部
大阪府柏原市旭ヶ丘3-11-1 ☎072-978-0088

 学校法人 田島学園 (奈良東病院グループ)
近畿社会福祉専門学校
厚生労働大臣指定 (介護福祉士養成校)

理事長 鉄村 俊夫
学校長 榎 豪司
〒534-0025 大阪市都島区片町1-5-13
大手前センチュリービル3階
電話 6136-1117 FAX 6136-1115
<http://www.kinki-swc.ac.jp>

印刷 × Web + α
TOTAL COMMUNICATION
関西共同
株式会社 関西共同印刷所
新大阪営業所 (第1営業部)
〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-4 KDX新大阪ビル4階
TEL 06-6453-3335 FAX 06-6676-7133
E-mail eigyo2@kansai-kyodo.co.jp
<http://www.kansai-kyodo.jp>

福祉と共に50年
株式会社
島本保険事務所
代表取締役 城谷 雅也
〒541-0056
大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号
大阪センタービル2階
電話 06-6252-4520 FAX 06-6245-4686
<https://www.shj.co.jp/>

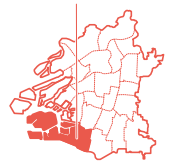
福祉と教育を発信する
一般社団法人 檸檬新報舎

代表理事・編集長 平田 篤州
理事・東京支部長 末永 良一
理事・編集委員 水流添 綾
理事・編集委員 横須賀 文
〒541-0046 大阪市中央区平野町2-2-9 ビル皿井701
TEL 090-7765-1812



福祉教育を通してふだんの くらしのしあわせを考える

住之江区



福祉教育で
福祉の心が
芽生えるように

住之江区社協は、特定非営利活動法人自立生活夢宙センター、安立地域あんりつちゆうの活動者などと協働して11月28日に安立小学校の4年生を対象として福祉教育を実施しました。

今回は、交流を通して、これまで気がつかなかったバリアに気づくをテーマに、ポッチャ体験、タブレットを活用した校内の物・心のバリア（不便な所、大変な所）を探す体験、自立生活夢宙センターによる「心のバリア」について気づいてもらう劇の鑑賞、グループワークで校

当日プログラム

※1・2時間目は3クラスを2つにわけて実施

1時間目 8:50~9:35	ポッチャ	校内探検
2時間目 9:45~10:30	校内探検	ポッチャ
20分休み		
3時間目 10:50~11:35	自立生活夢宙センター による劇団夢屋鑑賞	
4時間目 11:45~12:30	ふりかえり	

内探検の際に発見したバリアをなくしていくためにはどのような工夫が必要かなどのふりかえりで構成しました。

当事者との交流を通して、当事者の生活を知る

今回の福祉教育では、一昨年から取り組んでいるプログラムとして、タブレットを活用して実施しました。5人1グループにわかれ、1台ずつタブレットをもち、校内探検で校内にあるバリア（例：段差や階段など）を発見し、タブレットで撮影しました。

実施した時の様子



▲タブレットを活用し、バリアを探しに校内探検



▲地域活動者や当事者の方と小学生がポッチャで交流

協働して実施した皆さん



▲左から戸川主事、森本会長、池田さん、杉本さん、椎原係長



▲自立生活夢宙センターの皆さん

小学4年生にもわかりやすくバリアについて考えてもらえ、児童自身に気づいてもらうことに重点を置いて実施しました。また、当事者との交流にもつながるよう、校内各所で自立生活夢宙センターの障がい当事

者からヒントを出してもらい、生徒の気づきや学びにつなげました。
ふりかえりでは、写真を1枚選定し、バリアをなくすための工夫をそれぞれのグループで考え、共有しました。児童たちが知らなかったことは、自立生活夢宙センターの当事者の方から伝えました。また、「困っているところを見かけたなら、声をかける」「自分たちのお手伝いもあれば、バリアをなくせる」と

楽しんで学び、今後自分たちの暮らしで気づいてほしい

協働して実施した自立生活夢宙センターの平下泰幸たいしやく副代表は「講義だけでなく、体験も取り入れ、当事者と子どもたちが会話を通して楽しみながら学べるよう工夫しています。子どもたちの自由な発想が私たちの新しい気づきにもなり、一緒に考える機会にもなります。少しでも私たちのことを知ってもらい、子どもたちがこれから過ごすなかでの何か気づきにつながれば嬉しいです」と語りました。
区社協の戸川七海地域支援担当主事は「体験を通して普段の暮らしのなかで自分でできることは何かを考えるきっかけになればと思います。体験で終わらせるのではなく、関わったスタッフにとっても、子どもにとっても何か残るよう取り組んでいきたい」とふりかえりました。
また、西田樹地域支援担当主事は「普段の学校生活や日常生活で子どもたち自身がふと気づいた視点が、実は福祉につながっていることを伝えていきたい」と話しました。

漫才de学ぼう！成年後見制度 「地域に必要ですもん。市民後見人！」

大阪市成年後見支援センター（運営：市社協）では、「漫才de学ぼう！成年後見制度『地域に必要ですもん。市民後見人！』」を11月18日、住吉区民センターで開催し、120人も参加がありました。

このイベントは、認知症や知的障がい・精神障がいなどにより、判断能力が十分でない人が望む生活を実現するための契約や財産管理などを支援する成年後見制度と、市町村等の支援を受けてボランティアで後見業務を担う市民後見人活動の啓発講演会です。OBの方を含む市民後見人で構成される市民後見人連絡協議会とセンターとの共催で毎年開催されています。

第1部では、青空一風千風さんによる漫才で分かりやすく、そして楽しく成年後見制度について学びました。

第2部では、東京都足立区の「あだち区民後見人」でもある青空一風さんと、「大阪市民後見人」の廣瀬重治さんに登壇いただき、大阪社会福祉士会の宮田英幸先生のコーディネート



▲漫才でわかりやすく成年後見制度を説明

によるトークライブをおこないました。

東京と大阪、それぞれの地域で活動の仕組みや方法は違いますが、二人ともボランティア精神による市民活動としての理念と、熱い情熱を持って取り組まれています。本人がより良い生活を送ることができるよう、真摯に向きあい、丁寧に時間をかけて、本人の気持ちに寄り添った活動をされている様子が、体験談からひしひしと伝わってきました。

市社協では、誰もが住みよい地域づくりのために、より一層市民後見人活動を支援し、推進していきます。



▲トークライブでは、後見人活動の経験談を聞き、本人の気持ちに寄り添う大切さを学びました

参加者の声

- 難しいイメージでしたが、楽しくお話していただけたので参加して大変良かったです。
- 漫才でわかりやすく、おもしろく学ぶことができました。トークライブも非常に参考になりました。
- 実際の市民後見人の活動が聞けて良かったです。笑顔がお金ではない報酬。これからも市民後見人が広がってほしいです。

風をよむ

ケア労働の価値を見つめ直す

大阪公立大学大学院 生活学科研究科 田中弘美

映画『PERFECT DAYS』が昨年12月22日より公開となった。東京渋谷区にある公共トイレの清掃員の男の生活を描いた作品で、主演の役所広司さんが第76回カンヌ国際映画祭の最優秀男優賞を受賞して話題になった。ヴィム・ヴェンダース監督は実際に東京を訪れ、公共トイレが単なる必要性だけでなく日常の文化として成り立っていること、そしてそれを支える日本のサービスや「公共善」に対する考えに感銘を受け、メガホンを取ることを決めたという。このような海外からの賞賛に満ちたまなざしは、日本のケア労働者のプロフェッションリズムやサービスの質の高さは世界に誇るべき水準であるということを再認識させてくれる。

他方で、ケア労働に対する経済的・社会的評価という点においては日本でもまだ課題が多い。たとえば、国際的な調査では、日本の幼児教育・保育従事者は他国

よりも長時間働いており、特に子どもと接する以外の仕事に費やす時間が長いことが明らかになっている。また、保育士の平均給与は全職種の7割程度であり、OECD諸国の平均よりも低い。子どもたちや親、社会から高く評価されていると感じている保育者の割合が総じて他国よりも低いという特徴もみられる。介護従事者についても同様で、他国に比べて学歴の高い人材が多い一方、平均年収は全労働者の約6割に留まる。さらに、4割以上が有期雇用であり（OECD諸国の平均は約2割）、雇用の不安定さもうかがえる。

国による保育・介護等人材への処遇改善策が始まったものの、賃金上乗せなど対症的な改善に留まらず、ケア労働の本質を見つめ直すことが求められる。それが実現してこそ、「世界に誇る日本のケア」を示せるのではないだろうか。



社会福祉施設の地域における公益的な取組みをご紹介します ②

参加者も 職員も みんなが楽しい こども食堂がつながりのプラットフォームに!

社会福祉法人ほしの会が運営するライフライトでは、令和4年12月にこども食堂「ほしのてらす食堂」を立ち上げました。みんなで一緒にご飯を食べるだけでなく、ワークショップも開催し、さまざまな体験ができる場として、デイサービスの空間を使って毎月第4金曜日に開催しています。

法人として、高齢者施設を20年以上運営してきたものの、地域のなかではどこか遠い存在になっているのではないかと考え、地域支援の1つとして安心できる居場所、多世代交流拠点をめざしています。

コロナ禍で、給食も黙食が続いていたなか、友達と一緒に食事を楽しむ貴重な機会となり、毎回こども・保護者あわせて100名近くの参加があります。

法人内の職員や地域のボランティアも楽しみながら取り組んでおり、参加者同士だけではなく、人とのつながりをより一層感じることで活動となっています。



▲こどもとデイサービスの利用者が交流



▲毎回参加者、地域ボランティア、職員が楽しく活動!

取組みのポイント

- ✔ 「何の施設？」から足を止めるきっかけに
- ✔ 人を思いやる仕事・人がいることを知ってもらう
- ✔ 友達と一緒にご飯を食べることのワクワク
- ✔ いろいろな人とつながることが職員のやりがいに

社会福祉法人 ほしの会 ライフライト
 大阪市旭区赤川2-1-14 ロゼオグランデ1F TEL 06-6924-0041

BOSAI×体験Festa

～お城で知るう学ぼう災～

「BOSAI×体験Festa」は、1日丸ごと防災を楽しむ「お祭り」です。ただ展示を見て学ぶだけでなく、こどもも大人もワクワクできる、体験型のワークショップが盛りだくさん!大阪市・各区社協もブースを出展します。自分や家族、大切な人を守るための防災を身近に感じて、学んで、身につけませんか?



入場無料

開催日時 令和6年 **2月10日(土)** 10:30~15:00 (雨天決行/荒天中止)

開催場所 **大阪城公園 太陽の広場**
 (大阪市中央区大阪城3-11)

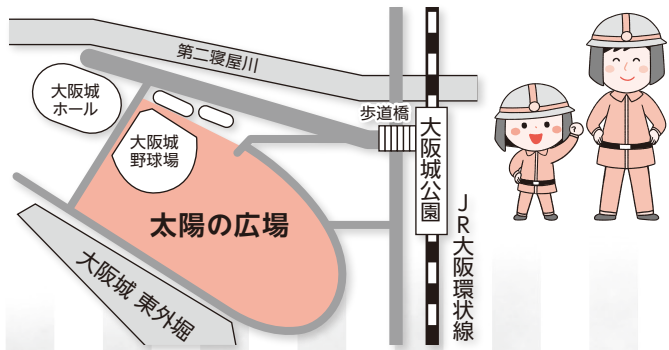
立ちどまらない保険。
MS&AD 三井住友海上

三井住友海上の安心

GK

火災保険 自動車保険 旅行保険

www.ms-ins.com



主催 ライオンズクラブ国際協会335-B地区アラート委員会
 協力 社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会